

312 東京帝国大学名誉教授穂積陳重他三名進講に付通牒

〔大正六年十二月二十五日〕

(欄外注記2)  
官秘三四八号

(欄外注記3) (富塚恂) (榎本勝多) (宮下軌太郎)  
庶務課 ㊦ ㊧ ㊨

左記ノ件及通牒候也

(欄外注記1)

大正六年十二月廿五日

文部大臣官房秘書課長

文部大臣秘書官 粟屋謙 ㊩

東京帝国大学総長理学博士男爵 山川健次郎殿

記

今般別紙写ノ通宮内大臣ヨリ文部大臣宛通牒有之候ニ付御了知  
相成度候

宮発第八九二号

大正六年十二月二十一日

宮内大臣子爵 波多野敬直 ㊪

文部大臣 岡田良平殿

通牒

明年一月九日御講書始被為行候ニ付左ノ通進講被仰付候条其ノ  
旨各自へ通達致置候

記

洋書進講

東京帝国大学名誉教授法学博士 富井政章

洋書進講控	同	法学博士男爵	穂積陳重
漢書進講	同	文科大学教授	服部宇之吉
国書進講	同	博士	三上參次

(欄外注記1)

「供閑 課長(中村恭平) ④ 総長(山川健次郎) ④ 法科大学長(小野塚喜平次) 文科  
 大学長(三上參次) 文科  
 大学長(花押) 文科

(欄外注記2)

「職第二五九号」

(欄外注記3)

「大正六年十二月廿六日」

『文部省往復』大正六年、④ A 135